

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者		歴史まちづくり推進担当担当課長 不破寛和	
歴史-02	重点事業	歴史的遺産と共生するまちづくり推進事業	☒ 自治事務	主管課	歴史まちづくり推進担当
			☐ 法定受託事務	関連課	文化財課
総合計画上の位置付け	分野	歴史的遺産と共生するまちづくり	施策の方針	歴史的遺産と共生するまちづくり	

1 事業の目的

対象	鎌倉の歴史的風致
意図	歴史的遺産と共生するまちづくりの視点に立った計画に基づき、事業を着実に推進するため。
効果	鎌倉市歴史的風致維持向上計画に基づく事業を実施することにより、歴史的遺産と共生するまちの実現が図られる。

2 平成28年度に実施した事業の概要

・「御成小学校旧講堂」を歴史的風致形成建造物に指定した。
 ・計画に搭載した構成事業の進捗状況について、平成28年度の進行管理・評価を実施した。
 ・歴史的風致維持向上計画協議会を開催し、平成28年度の進行管理・評価について意見を聴取した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算	備 考
	人 口	177,243人	人 口	176,869人	人 口	176,466人	
世 帯 数	世 帯 数	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	世 帯 数	81,150世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	事業の対象者数		事業の対象者数		事業の対象者数		
運 営 資 源 状 況	決算値(千円)	4,364	決算値(千円)	161	当初予算(千円)	2,010	
	国県支出金		国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		地方債		
	その他		その他		その他		
	一般財源	4,364	一般財源	161	一般財源		
	人員配置数	2.0	人員配置数	0.5	人員配置数	0.5	
事 業 費 運 営	人 件 費(千円)	15,308	人 件 費(千円)	3,863	人 件 費(千円)	3,886	
	総事業費(千円)	19,672	総事業費(千円)	4,024	総事業費(千円)	5,896	
	市民1人当りの経費(円)	111	市民1人当りの経費(円)	23	市民1人当りの経費(円)	33	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 歴史的風致維持向上計画の進行管理を行うとともに、10年間の計画期間の中で計画に搭載した構成事業を着実に推進する必要があるため。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	歴史的風致維持向上計画に搭載した構成事業及び歴史的風致形成建造物の指定について着実な推進を図り、「歴史的遺産と共生するまちづくり」を進めていく。	

